

東吾妻町

社協だより

第17号

令和2年1月20日発行

編集発行／社会福祉法人 東吾妻町社会福祉協議会

〒377-0802 東吾妻町大字川戸233番地1(本所)

TEL0279-68-2772 FAX0279-68-0051

〒377-0303 東吾妻町大字新巻320番地4(東支所)

TEL0279-59-3266 FAX0279-59-3207

ホームページ <http://higashiaga-shakyo.jp>



災害ボランティア研修会

「ボランティア会やまぶき」では11月27日、中央公民館を会場に災害ボランティア研修会を開催しました。独自で所有する災害用炊き出し器を使ってアツアツの豚汁や炊き込みご飯を調理し、参加者はいざという時に備えました。

初春



東吾妻町社会福祉協議会
会長 山野 進

謹んで年頭のごあいさつを申し上げます。

皆さまにおかれましては、令和となつて最初の新年を健やかに迎えることと心からお慶び申し上げます。

常日頃から社会福祉協議会の運営全般に亘りまして、多大なるご支援とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

一昨年から取り組んでおります「生活支援体制整備事業」の協議体活動も関係者のご尽力により、5地区とも年間3〜4回のペースで、地域における資源マップの作成やニーズ（要望や困りごとなど）調査等を行つております。このような活動が認められ、令和元年度全国社会福祉大会において、「社会福祉法人全国社会福祉協議会長表彰」を受賞いたしました。この賞を励みに、地域で支え合う共生社会の実現に向けた「住民主体の地域づくり」を関係者やメンバーの方と連携を図りながら更に進めて参ります。

また、昨今の地域社会において、少子高齢化や人口の減少などに伴

つて、地域のつながりが希薄化し「地域の福祉力」が低下してきています。この様な状況下で、群馬県社会福祉協議会と県内の社会福祉法人が連携・協働して、「群馬県ふくし総合相談事業」を立ち上げ、加盟法人内に『なんでも福祉相談』の窓口を開設しました。

当社会福祉協議会でも担当職員2名を配置し、対応に取り組んでおります。心配ごと、子育ての悩み、生活が苦しいなどの生活課題が深刻化しておりますが、これらの生活上の困りごとなど気軽に相談して頂くのが、この事業であります。相談にあたっては、費用は無料です。個人情報保護には万全を期しますので、気兼ねなくご相談ください。元号も令和となり、新しい時代が始まりました。本年も職員一同「地域社会が支え合い、その人らしく安心して暮らせるまちづくり」を目指し、精進する所存でございます。

これからも変わらぬご支援とご協力を切にお願い申し上げますとともに、皆さまのご多幸を心からお祈り申し上げます。

群馬県社会福祉大会

町から8名受賞

11月22日、昌賢学園まえばしホール（前橋市民文化会館）を会場に令和元年度群馬県社会福祉大会が開催されました。本大会は永年にわたり社会福祉の発展に功績のあつた方々を表彰し、感謝の意を表すとともに、本県の福祉活動の更なる普及と社会福祉の一層の充実を図ることを目的に開催されました。

本町から左記のとおり8名が表彰されました。

○群馬県知事表彰

山野峯子 様

（民生委員・児童委員勲続章）

○県社協会長表彰

日野喜久男 様

（社会福祉関係団体役員表彰）

中井栄一 様

（社会福祉事業従事者表彰）

石川あけ美 様

（社会福祉事業従事者表彰）

湯本義邦 様

（社会福祉事業従事者表彰）

佐々木恭 様

（社会福祉事業従事者表彰）

佐藤 弘 様

（保護司功労者）

茂木恒二 様

（保護司功労者）

優良活動表彰を受賞

全国社会福祉大会において

期日：令和元年11月22日 場所：メルパルクホール(東京都)

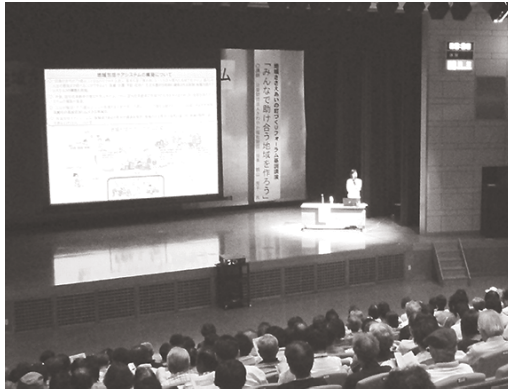
この度、地域の助け合いや支え合い、見守り活動などの地域づくり活動に対し住民が主体となって取り組まれている活動が認められ、全国社会福祉協議会長から「社会福祉協議会優良活動表彰」を受けました。ご尽力いただいております地域住民、関係者のすべての皆様に感謝申し上げますとともにご報告いたします。



受賞した表彰状と賞牌

協議体レポート

研修会を盛大に開催



鶴山芳子氏の講演

7月24日に協議体の研修会「地域ささえあいの町づくりフォーラム」をコンベンションホールで開催しました。当日は、多数の方々を足運んでいただきありがとうございます。

まず初めに東吾妻町の少子高齢化の進行状況、介護保険及び協議体の現状等について町担当者より報告がありました。その後の講演会では、この現状の中で私たちが

域住民にできることは「なにか」についてさわやか福祉財団の鶴山芳子氏より学びました。

「なぜ」この取組み（生活支援サービス体制整備事業）が必要なのか？いくつか理由があります。

- ① 介護保険料の更なる上昇
- ② 介護人材の減少
- ③ 少子高齢化の進行

などが予想されるからです。高齢になっても安心して暮らせる町をつくるためには、地域住民がともに支え合うことが重要です。協議体とはその町づくりを話し合う場であり、生活支援コーディネーターにはこの取組みを推進する役目があります。私たちの任務は「助け合いを広めること」です。できることをできる範囲で助け合える町づくりを目指しています。

カフェすいせん

今年の6月より各地区協議体（旧中学校区）で「カフェすいせん」を開催しています。カフェすいせんとは、認知症の人やその家族、地域の人も、誰もが気軽に参加できる認知症サポーターによって運営されている「集いの場」です。ここでは認知症予防に役立つ

内容（参加者で合唱、ゲーム、折り紙やおしゃべり）を行っています。地域住民どなたでもどこの地区でも参加できます。

このような場に社会参加することは、

- ① 認知症を理解することができる。
- ② 認知症サポーターの活動の機会となる。
- ③ 地域住民のつながりの再構築ができる。

以上のような効果が期待できます。

ぜひ参加してみませんか？スタッフ一同お待ちしております。

〇ご確認ください
各地区の開催日は町のお知らせカレンダーに掲載しておりますので、ご確認ください。



参加者で歓談

ボランティア活動保険のご案内

ボランティア活動保険は全国社会福祉協議会が実施する保険制度で市町村社協が窓口となり保険の手続きを行っています。ボランティア活動保険にぜひ加入してからボランティア活動に参加しましょう。被災地における災害ボランティア活動にも対応しております。

年間保険料

基本タイプ	Aプラン	350円
	Bプラン	510円
天災タイプ	Aプラン	500円
	Bプラン	710円



ボランティア活動中のさまざまな事故によるけがや損害賠償責任を補償します。

※年間を通いいつでも保険への加入は出来ますが、補償期間は当年度3月末日迄となります。途中で加入する場合でも、掛け金は同額です。

※申込の際は印鑑をご持参ください。

☎68-2772 担当：茂木

サロンの紹介

サロン在下



サロン在下のみなさん

〈代表 水出のぶ子〉
 昨年6月から始まりましたサロン在下です。事前に社会福祉協議会担当者に、サロンについて色々教えていただき、
 ①皆で集まっておしゃべりや食事を楽しむこと
 ②ゲームや体操でそれぞれの健康寿命を伸ばすこと 等
 中心に考えサロンを始めました。
 今年は6回開催の予定で行っていますが、毎回20名を超える方々が参加され、体操の時にはうめき声や笑い声を上げながら楽しく身体を動かしています。これからも地区の皆さんに参加を呼びかけ、多くの方々と楽しいサロンを目指していきたいと思えます。

令和元年度 会費納入状況

地区名	会員数	会費収入額
東 地区	585 世帯	292,500 円
太田 地区	765 世帯	382,500 円
原町 地区	1,303 世帯	651,500 円
岩島 地区	914 世帯	457,000 円
坂上 地区	845 世帯	422,500 円
合計	4,412 世帯	2,206,000 円

ご協力ありがとうございました

地域福祉活動に活用

今年度も区長さんや班長さん、地域皆さまのご協力により左記のとおり前年同様会費をいただくことができました。

集まった会費は主に地域福祉活動に活用してまいります。ここにご報告と会員様へのお礼とさせていただきます。

社会を明るくする運動



町推進委員会のみなさん

法務省主催の「第69回社会を明るくする運動」が7月を強調月間に全国で展開されました。運動の一環として封筒募金をお願いしたところ4398世帯から88万3452円の募金をいただきました。ここに報告申し上げます。
 なお、募金は全額、吾妻保護区保護司会に納付され、犯罪や非行の防止、青少年の健全育成等を中心とする「社会を明るくする運動」や罪を犯した人の更生に活用されます。
 募金の2割（17万6691円）が社会福祉協議会に交付され、ケール研究会等の社会を明るくする運動の経費に充てさせていただきます。

歳末慰問 ～歳末助け合い運動～

歳末たすけあい運動は共同募金運動の一環として、新たな年を迎える時期に生活に苦しんでいる方やひとり暮らしのお年寄りが明るくお正月を迎えるために何が出来るかを考え、支援する活動です。支援を必要とする人たちが地域で安心して暮らすことができるよう、住民の参加や理解を得てさまざまな福祉活動を重点的に展開するものです。

本会では民生委員の協力の下、皆様からいただいた歳末たすけあい募金を財源に、町内の低所得世帯及び高齢者世帯へ慰問金の給付を行いました。

- 低所得世帯 35 世帯 179,000 円
- 高齢者世帯 180 世帯 388,000 円



「希望くんと愛ちゃん」
 共同募金のシンボルキャラクター

お知らせ情報 コーナー

福祉器具・車両の貸出

福祉用具や福祉車両を一時的に必要とする場合に貸し出しを行っています。

<福祉用具>

- 種類：車いす、介護用ベッド
対象者：町内在住の個人、団体
期間：車いすは1カ月（更新で最長3カ月まで）
介護用ベッドは原則1年以内
料金：無料（ただし、介護用ベッドは付属のマットレスの消毒料として返却時に実費負担していただきます）

<福祉車両>

- 使用用途：高齢者や障害者が通院や買い物等、日常生活上の利便性を図る場合
対象者：町内在住の介護を必要とされる方を介護する家族
料金：無料（ただし、使用した燃料費や有料道路等の経費は使用者負担となります）

シルバー人材センター

シルバー人材センターは、町内在住の60歳以上の高齢者に、ライフスタイルに合わせた「臨時的かつ短期的な軽易な仕事」を提供するとともに、仕事等の社会参加を通じて、健康と生きがいのある生活の実現、地域社会の福祉の向上に寄与しています。ご興味ある方はお気軽に事務局までお問い合わせ下さい。

（☎68-0135 担当 上原）

運転ボランティアさん大募集

車の運転ボランティアさんを募集しています。主に高齢者が病院へ通院する際の手による運転ボランティアです。ボランティア活動に興味がある方はぜひお問い合わせください。

- 資格：普通自動車免許がある70歳以下の方
車両：町社協の車両を使用
その他：活動前に所定の講習を受講していただきます。
（☎68-2772 担当 平尾）

なんでも福祉相談

相談随時受付中!!

この事業は、福祉の『どこに相談したらいいかわからない』といった困りごとに対し、しっかりと受け止めていく取り組みです。

相談役となる『なんでも福祉相談員』を配置しており、解決できる相談はその場で解決し、難しい場合であっても必要に応じて適切な支援先につないでいきます。県内各地域にいる『なんでも福祉相談員』のネットワークを活用して、地域の困りごとに向き合っていきます。ぜひご利用ください。
（☎68-2772 福祉相談員 茂木・平尾）



ご寄付ありがとうございました

受付期間：令和元年6月～11月

※今回から氏名のみのご紹介とさせていただきます

敬称は略させていただきます。

エコキャップ・プルトップ等

東吾妻町婦人会、日赤清掃メンバー、よみがえれ東吾妻、箱島分館、五町田分館、太田小学校、坂上小学校、東吾妻中学校 JRC 委員会、(株)吾妻バイオパワー、Honda Cars 東吾妻 原町店、(株)たくみ、JA あがつま 東スタンド、飯塚商店、菊地誠一、大塚美知子、青木泰子、木藤久子、樋口貴信、高橋朋也、代田 幸、町田政美、小泉正一、篠原せつ子、小林勝三、竹淵紘介



使用済み切手

東吾妻町職員組合 青年女性部、姉山区長

その他

加藤尚子、湯浅くら、富澤たつ江、富澤里美

スポット

ふれあい広場



人気の福祉バザー

このふれあい広場は、コンベンションホールを会場に町ボランティア連絡協議会が主催で、会に加盟するボランティア団体（7団体）の活動を広く町民へ知ってもらおうと、毎年開催しているイベントです。



多くの来場者で賑わう会場内

れなどで賑わいます。高校生や福祉施設などの協力もいただき、それぞれ特色あるブースを出店され会場を盛り上げていただいております。

今年も開催します

令和元年度「ふれあい広場」を次のとおり開催します。

今年「いま考えよう！自分のできること」をテーマにステージ披露、福祉バザー、脳若トレーニング、福祉施設展示即売等、盛りだくさんの内容で行う予定です。みなさんのお越しをスタッフ一同お待ちしております。

日時：令和2年3月7日（土）

13時～16時

会場：コンベンションホール

職員紹介



塚本美加子 介護員

「デイサービスセンター水仙」は平成29年から地域密着型と変わりの心新たに再出発をしたところです。デイサービスでの仕事は朝のお迎えに始まり、デイ到着後はバイタルチェック・ラジオ体操・入浴となります。午後はお昼寝・体操・レクリエーションや頭を使ったゲームなどで楽しい時間を過ごしています。現在は脳トレパズルや壁画作りなどを行っています。

私はデイサービスセンター水仙に勤めて今年で5年目になります。が、それまで介護の仕事に携わる機会はありませんでした。今はデイサービスセンター水仙で働く機会をいただき、介護の仕事に携われたことができて大変光栄に思っています。正直、初めのうちは本当に大変な仕事だと感じていました。しかし、頑張っ続けていくうちにすこくやりのある仕事だと自分の気

持ちが変わっていききました。利用者様に「大変な仕事なのにみんなは偉いね。」と声をかけられますが、私はハッキリと答えます。「大変なかじやないですよ！楽しいですよ！」と。

今後利用者様の立場になって物事を考え判断し、利用者様みなさんが今以上に楽しく喜んで利用していただけるよう日々の仕事に励みたいと思います。利用者様の大切な一日が素敵な一日で終わられるようデイサービスセンター水仙の職員一同頑張っていきたいと思えます。



利用者に寄り添います

人事異動（11月11日付）

【デイサービスセンター水仙】

篠原幸一（福寿草介護員）

【すこやかセンター福寿草】

田村留美（水仙介護員）